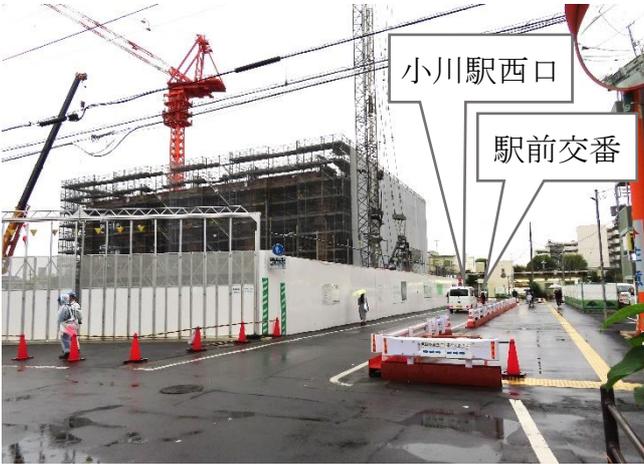


特集：小川駅の西口が変わる。27階ビルの4・5階に市の複合施設が！

再来年、2026年度に完成予定の小川駅西口再開発ビル。今、西口を降りると工事中の現場や一部通路は白い壁で覆われている。このビルの4・5階に入る市の複合施設について、最近の動きとともにまとめてみた。

1 小川駅西口再開発高層ビルの中は



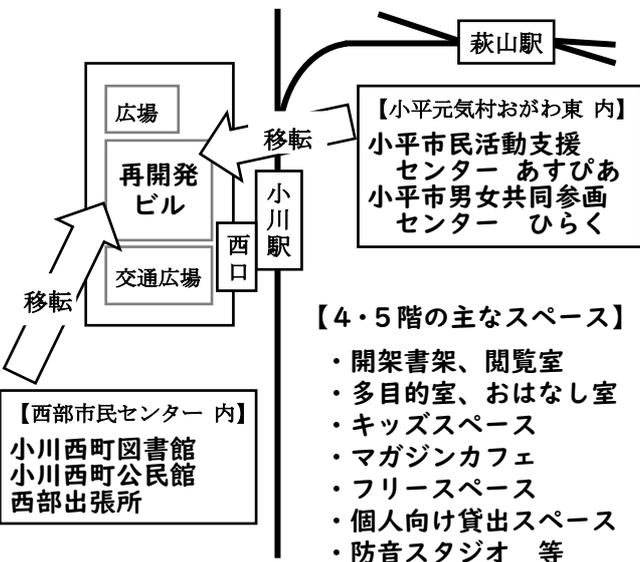
小川駅西口再開発建築現場（10月、西口の西側から）

地下1階	市営自転車駐車場
1～3階	スーパーマーケット等の商業施設
4～5階	公共施設
6～27階	218戸の集合住宅
その他	駅前広場、(仮称)小川にぎわい広場 施設用駐車場

駅前再開発ビルとして、完成後は利便性の高い地域になりそうです。(参照:市報令和5年3/5号1面)

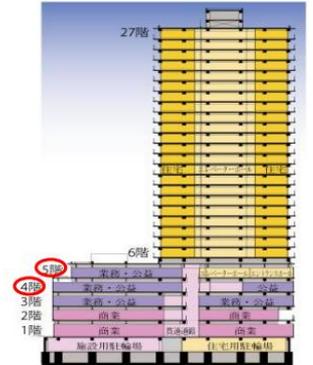
2 ビル4・5階に入る複合的な公共施設とは

下図のように、萩山駅南口にある「小平元気村おがわ東」内の2施設、そして、小川駅西口にある「西部市民センター」内の3施設、合計5施設が移転します。



【4・5階の主なスペース】

- ・開架書架、閲覧室
- ・多目的室、おはなし室
- ・キッズスペース
- ・マガジンカフェ
- ・フリースペース
- ・個人向け貸出スペース
- ・防音スタジオ 等



再開発ビルのイメージ（小川駅西口地区市街地再開発組合ホームページより）
公共マネジメント推進委員会資料(令和6年5/28)より

図書館、公民館、市民活動支援センターあすびあ、男女共同参画センターひらく、が同じ空間に入り複合化されることで、相互の協働や多様な活動の相乗効果が期待されます。また屋外の広場の活用も含めて、子育て世代や通勤・通学の方々等、さまざまな人たちが集まり、共存できる、夢が大きく広がる空間になりそうです。

3 イベント「工事現場の「仮囲い」に絵を！」

そんな気運を高めようと、小川西町公民館主催講座「地域で共に創る新しい公共施設」を終えた有志によるサークル「小川シン・公共施設&プロジェクト」が11月16日(土)にイベントを企画。市の提示型公募事業として、市内在住・在勤・在学の方たちにA3の画用紙に絵を描いてもらい、工事現場の「仮囲い」に飾るといふ。(参照:市報10/20号8面)



描かれた絵は12月1日から、小川駅西口前の交番右奥の白い仮囲いに掲示される予定。

4 カタチを想いに。想いをカタチに。

いくつかの公共施設が複合化されることで、何が生まれるのか。新たに見出せるもの、見出さなくてはならないものなど、多くの人の想いをつなげ、広めていければと思いました。そのためにも、今後新たな企画、イベントが望まれています。(文責:藤川)